

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2019～2020年度 国際ロータリー マーク・ダニエル・マローニー 会長テーマ

ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ

創立 1954年3月8日

承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦文雄
幹事 神谷強
会報委員長 中川耕児

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3064回例会プログラム

[当年度=10回目；当月=5週目]

2019年（令和元年）9月25日（水）

会場：ホテルクラウンパレス知立

伊藤靖祐ガバナー公式訪問

刈谷・知立 RC 合同ガバナー公式訪問プログラム……

〈同会：知立 RC プログラム委員会〉

ガバナー入場

- 12:30 1. 点鐘
2. 開会宣言
3. 君が代・奉仕の理想斉唱
4. ゲスト紹介
5. 歓迎の辞及び会長挨拶
食事
6. 出席報告
7. ニコニコボックス報告
12:55 8. ガバナー紹介
13:00 9. ガバナー卓話
10. 謝辞
11. 閉会宣言
13:30 12. 点鐘
散会

ビ ジ タ ー

西三河分区分ガバナー補佐 稲垣 良次 様（西尾 RC）

ゲ ス ト

RI 第2760地区ガバナー 伊藤 靖祐 様（江南 RC）
RI 第2760地区幹事 南村 朋幸 様（江南 RC）
米山奨学生 趙 宰瑩 君

出 席

会員総数 97名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 85名
欠席 12名 出席率 85.88%
前々回（9/2）の修正出席率 100%

歓迎の辞及び会長あいさつ

知立ロータリークラブ
隅田 正之 会長

改めまして、こんにちは。

もうすでに11時半から伊藤靖祐ガバナーには、4階の会議室にて刈谷ロータリー、知立ロータリーの会長・幹事懇談会を開催し、色々なお話を聞かせ



ていただきました。お話の中で、今日は15会場目ということで全体が30数会場ですので、約半分ガバナー公式訪問が済まれて、ちょうど折り返し地点だそうです。

色々なお話をさせていただいたのですが、一番皆さんが関係するのが、今年6月の規定審議会におけるメーキャップについてや、その他RIでの変更事項、マイロータリーの登録の件、会員増強、これは刈谷さんも私どもも一生懸命会員増強をしているのですが、ロータリーの会員増強のあり方や目標の部分をご示唆いただきお話しいただきました。

さらにもう1つ、私も初めてお聞きしたのがパソコン以外の携帯電話のアプリで2760地区の専用のアプリが登場したということです。それを使うといろんな会場へのメーキャップの行き方までそこに出ているようで、本当に便利な時代になってきていると思う次第です。

公式訪問の一番の価値は、この場に皆さんがお忙しい中お集りいただいて、ガバナーが江南の地よりこちらに来ていただいているのですが、顔と顔を合わせてお話しできること、もう一つはガバナーのお話を直接聞かせていただくことによって知識を頂き楽しむことであります。本日は、本当にお忙しい中ガバナーに来ていただいております。たっぷりお時間を取らせていただいております。よろしくお話しを聞かせていただくつもりです。よろしくお話しします。

ガバナー紹介



杉浦 文雄 会長

卓話

ガバナー 伊藤 靖祐 様



2019-20年度 2760地区
ガバナー
伊藤靖祐
生年月日
1959年(昭和34年)11月1日
所属クラブ
江南ロータリークラブ
職業分類 幼稚園
勤務先・役職
学校法人聖英学園 理事長

所在地 〒483-8252 江南市大間町南大間11-1

ロータリー歴

2001年1月 江南ロータリークラブ入会
2002～2005年度 地区 IT 委員会委員
2004～2005年度 副幹事
2007～2008年度 S.A.A.
2010～2011年度 国際奉仕委員長
2013～2014年度 クラブ幹事
2016～2017年度 クラブ会長
2017～2019年度 地区戦略計画委員会委員
2018～2019年度 第2760地区ガバナーエレクト
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者
経歴・公職
1982年 慶應義塾大学商学部卒業（体育会剣道部
剣道四段）
1982年 三井物産株式会社入社
東京本店、ニューヨーク本社勤務を経て
1996年退社
1996年 学校法人 聖英学園 入職
2001年 江南第二幼稚園園長
2005年 風かおる丘幼稚園園長
2012年 丘の上幼稚園園長
2015年～ 学校法人聖英学園理事長（江南幼稚園、江南こども園グレイス、師勝はなの樹幼稚園、風かおる丘幼稚園、丘の上幼稚園）
2015年～ 社会福祉法人聖英会理事長（丘の上保育園、オリーブの樹保育園、オリーブの実保育園、ぶどうの樹保育園、ぶどうの実保育園、なごや保育園）
2017年～ 学校法人滝学園評議員
2017年～ 公益財団法人愛知県私立幼稚園退職基金財団常務理事
2010～12年 公益社団法人愛知県私立幼稚園連盟常任理事
2015～17年 公益社団法人名古屋市私立幼稚園協会副会長

活動方針 Activity Policy

2019-20年度地区活動方針

『グローバルに考え 地域社会とつながりロータリーを成長させよう』

—ポスト平成のクラブをデザインする—

私たちは今、大きな変化の時代にロータリー活動をしています。日本の少子高齢化をとともう人口減少は前人未到の領域に入り、急速に進む非連続的な技術進歩も経済社会の様々な面で大きな影響を与えつつあります。そうした大きな変化の時代に、ロータリークラブの持続可能性は、その中にどれほどの多様性と柔軟性を包摂できるかに依存します。マーク・D・マローニー RI 会長は「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを掲げました。ロータリーのビジョン声明（2017年採択）には次のように謳っています。

「私たちロータリアンは、世界で地域社会で自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」。つまり、私たちはロータリーを通じて手を取り合ってつながります。ロータリーを成長させる方法も、つながりにあります。つながりがより大きくなれば地域社会へより大きなインパクトをもたらします。そのために従来のロータリークラブの既成概念を抜け出す多様性と柔軟性で適応力を高めるのです。

多様性と柔軟性が組織の持続可能性において大きな因子であることはビジネスの世界で明白です。Apple 社が初めて市場参入したときはイノベーターでした。ロータリーがその初期において社会的変化と良いことを生むつながりという点でイノベーターであったことと同じです。やがて Apple 社は社会の変化に多様性と柔軟性で対応した適応力を身に着け世界で最も価値ある企業の一つになりました。一方、Kodak 社に起きたことは、かつては革新的な技術を持っていたものの革新を止めてしまい社会の変化への柔軟性を失い倒産を余儀なくされました。

この例の轍を踏むことなく、ロータリークラブはロータリーの5つの中核的価値観をベースに、さらに踏み込んだ“知的多様性”と“革新的柔軟性”を取り入れる必要性が高くなっています。10年後 20年後の日本のロータリークラブの人口構成を想定するとポスト平成のロータリークラブは“知的多様性”と“革新的柔軟性”を包摂することなくして持続可能性を高めることはできません。私たちはお互いの違いを超え、深く意義あるかたちでつなぎ、つながりを地域に発展させ、職業上のネットワークを広げ、ロータリークラブの公共イメージの向上とともにクラブの在り方をデザインし、ロータリークラブを成長させていくことが重要です。さあ、時は今です。各クラブがロータリーを成長させることを考え行動しましょう。

